



学校教育目標 社会に貢献しながら、
自立する生徒の育成
～気づき、考え、実行する～

やまゆり

校訓 「和の心」

指導重点

- ① 居心地がよく、やる気のある
学級集団・学校づくり
- ② 確かな学力の育成
- ③ 健やかな身体の育成
- ④ 豊かな心の育成
- ⑤ 生徒の良さを伸ばし、課題を
解決するための「連携・協働」を推進する

「定期テスト」から 「単元内テスト」へ

6月に入り、1学期も後半に突入しました。学校だより(第5号・第6号)では、本校で実施している「単元内テスト」について、取り上げます。

本校では「定期テスト」を取り止めて、「単元内テスト」を実施しています。これは、各教科の学習内容のまとまり(単元)ごとに行うテストのことで、授業の進捗状況に応じて実施します。小学校では、このスタイルだったと思います。

① 何のために?

では、何のために、このようなスタイルに移行したのでしょうか。

これからの時代は「予測困難な時代」といわれています。現行の学習指導要領では、この時代を生き抜く生徒に育みたい資質・能力として、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させた上で、思考力・判断力・表現力や自ら学習に向かう力等を示しています。

これまでは「みんなと同じことができる」とか「言われたことを言われた通りにできる」とか「正解(知識)の暗記」に比重があり、それらを確認するうえで、「定期テスト」は有効な方法でした。

その反面、自ら課題を見つけ、それを解決する力や、自ら考え抜く力の育成等は十分なされていなかったとの指摘もあり、学習指導要領の求める資質・能力の育成において、「定期テスト」でそれらを測るのは、難しくなってきたといえるでしょう。

そこで、これまでの「定期テスト」を見直し、「単元内テスト」への移行により、その育成を図るとともに、主体的に学ぶ力を育み、学力の向上、定着を目指します。

これまでは「定期テスト」の結果が、成績に大きく左右され、その期間だけ、集中して勉強に取り組むことにより、好成绩も期待できました。テスト前に、出題されそうな部分を、集中的に頭に叩き込む「一夜づけ」勉強法も有効でした。「単元内テスト」への移行は、ペーパー

テストの結果にとどまらない、多面的な評価も、これまで以上に可能となります。

テストは、生徒が既習内容の定着具合を確かめるためのものであり、その方法は「定期」とする必要はありません。学期の中を分け、テスト範囲を設けて、一斉にテストを行う「定期(中間・期末)テスト」よりも、学習内容のまとまり(単元)ごとに行う「単元内テスト」の方が、学習状況を適切に評価することができるのではないかと考えます。「単元内テスト」への移行により、評価の頻度が増え、生徒一人一人の学習状況や理解度を的確に把握して、思考力・判断力・表現力や自ら学習に向かう力等も適切に評価でき、学習指導要領の求める資質・能力の育成につながると考えます。



ただ「単元内テスト」は、範囲の狭い学習内容を確認するものであることから、これまで通り「到達度テスト」や「確認テスト」等を活用して、より広い範囲で学習内容の定着を測る機会も設けています。これらを図式化すると、裏面のようになります。

② 何が変わるのか?

全国的には、「定期テスト」を廃止して「単元テスト」に移行する中学校が増えています。「単元テスト」と併せて、より範囲の狭い「小テスト」も行い、日々の授業で学んだ内容の定着具合を、生徒一人一人が実感できるように工夫しているそうです。本来、勉強は自発的に取り組むものです。1回あたりのテスト範囲が狭いことで、休み時間の過ごし方、家庭学習等にも変化が見られるようです。

本校においても、生徒一人一人が、このような姿勢で授業(学習)に臨むことを期待しています。日常的に「テスト」という目標があることで、時間を有効に使う習慣を身につけ、これまで以上に、自分自身で考え判断(選択)して、学習に取り組んでほしいと願っています。

これからも、教職員一同、創意工夫を凝らして、よりよい「単元内テスト」の在り方を考え続け、指導や支援に役立てていきたいと思ひます。(次号に続く)

「テスト」はこのように変わりました

【変更前】R5まで

※令和5年度には、単元内テスト移行への取り組みを始めています。

学期	1学期	夏休み	2学期	冬休み	3学期
全学年	中間テスト 期末テスト 到達度テスト		確認テスト 中間テスト 期末テスト 到達度テスト		期末テスト
中間テスト、期末テスト（3学期）を取り止め、単元内テストを実施（令和5年度）					
1年	NRT				確認テスト 到達度テスト
2年	NRT 県学力把握				確認テスト 到達度テスト
3年	全国学力		教達検① 教達検②		到達度テスト 私前私後 立期立期 推検一推 薦査一査



【変更後】R6から

学期	1学期	夏休み	2学期	冬休み	3学期
全学年	到達度テスト		確認テスト 到達度テスト		
1年間を通じて、単元内テストを実施					
1年	NRT				確認テスト 到達度テスト
2年	NRT 県学力把握				確認テスト 到達度テスト
3年	全国学力		教達検① 教達検②		到達度テスト 私前私後 立期立期 推検一推 薦査一査

それぞれの「テスト」って？

テストの種類	説明
中間テスト	1・2学期に、5教科（国語・社会・数学・理科・英語）で実施します。
期末テスト	各学期、全教科（9教科）で実施します。
到達度テスト	各学期、5教科で実施します。テスト範囲は広いです。
確認テスト	休み明けに、5教科で実施します。テスト範囲は、休み中の学習内容が中心です。
単元内テスト	各教科により、実施方法等が異なります。
（教研式）NRT	全国の学力水準と比較して相対的に学力を把握します。5教科で実施します。
その他	全国学力・学習状況調査、県学力把握調査、教育課程到達度確認検査があります。